

事業目的

一般国道181号は、岡山県津山市から日野郡を經由して米子市へ至る県西部地域の南北方向の主要交通軸となる道路です。また、災害時の緊急輸送路としても重要な路線に位置付けられています。

しかし、現在の一般国道181号の伯耆町吉定から米子市諏訪間は、道路幅員が狭い上、住宅・商業施設が密集していることから全区間にわたって交通事故が多発しています。また、伯耆橋付近では慢性的な交通渋滞が発生している状態です。

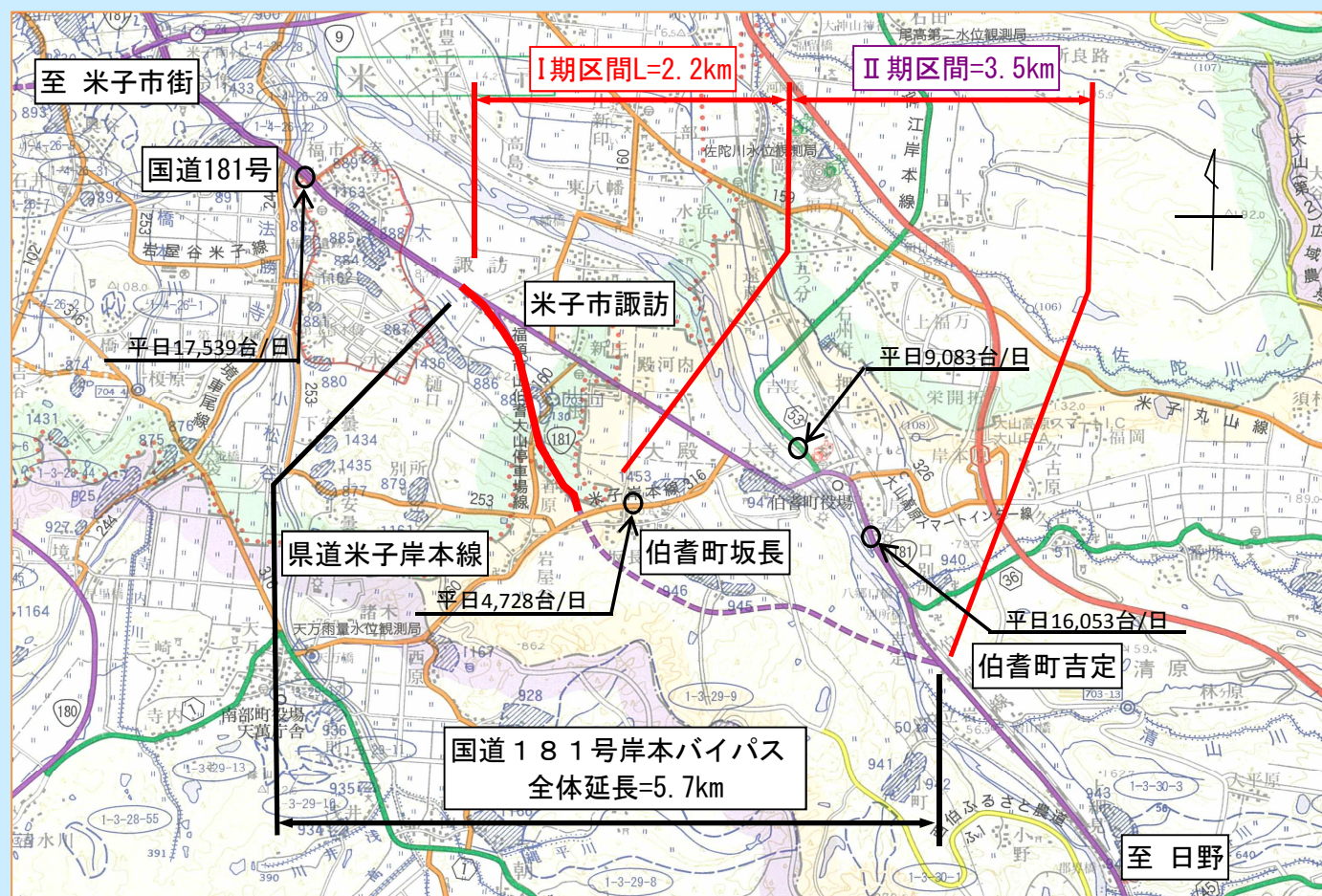
このため、鳥取県では、交通の安全確保、慢性的な渋滞の解消、交通や物流の円滑化を図ることを目的とし、「岸本バイパス」(全体延長 5.7km)の整備を進めているところです。

平成21年には、I期区間の西伯郡伯耆町坂長から米子市諏訪間の約2.2kmの完成により、全線開通に向けた大きな前進を果たすとともに、南部町も含め広く沿線地域の生活利便性の向上、活性化に寄与しています。

事業概要

- 事業区間 : 西伯郡伯耆町吉定～米子市諏訪
道路規格 : 第3種2級、設計速度V=60km/h
事業延長 : L=5,720m (I期区間 L=2,180m II期区間 L=3,540m)
幅員構成 : (I期区間) 車道幅員6.5m (3.25m×2車線)、歩道3.5m (両側) 全体幅員15.5m
(II期区間) 車道幅員6.5m (3.25m×2車線)、歩道2.5m (片側) 全体幅員11.0m
事業期間 : 平成10年度～平成32年度
事業費 : 約151億円 (I期区間 約44億円 II期区間 約107億円)

位置図

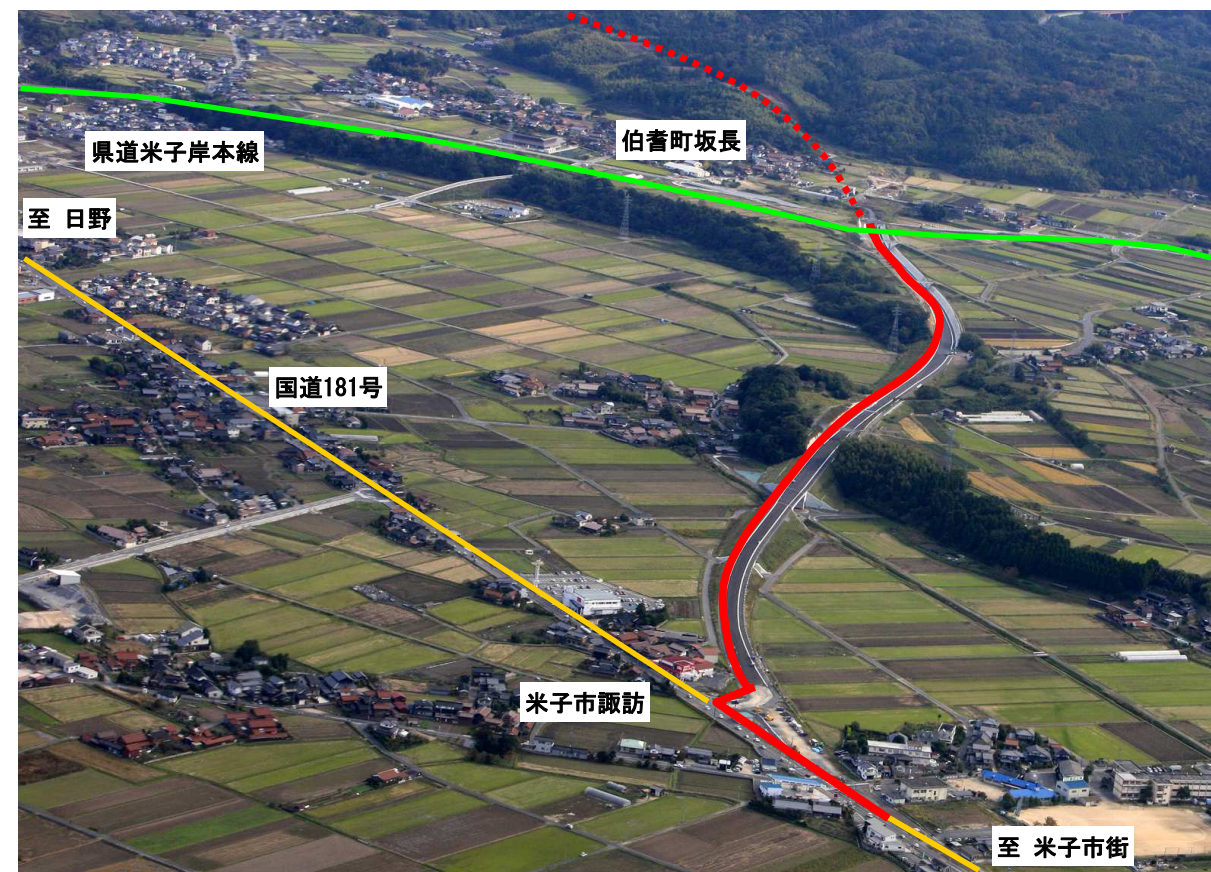


※交通量はH27道路交通センサスによる。

一般国道181号 岸本バイパス

(西伯郡伯耆町吉定～米子市諏訪)

事業概要



I期区間：平成21年12月12日開通

鳥取県

改訂年月：平成29年12月



① I期区間起点側(伯耆町坂長)より
終点側(米子市諏訪)を望む



② I期区間起点側(伯耆町坂長)よりII期区間を望む

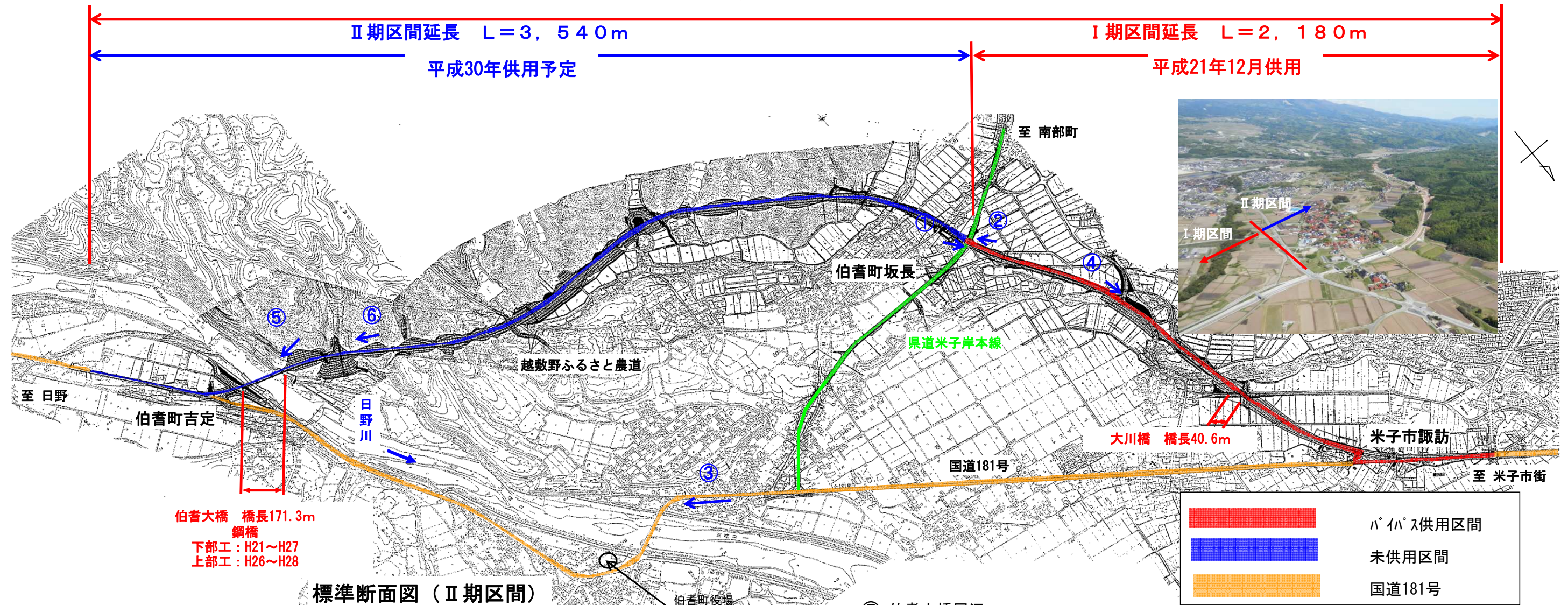


③ 現道
伯耆町大殿付近



④ バイパス
伯耆町坂長から米子市諏訪方面を望む

全体延長 L = 5, 720m



標準断面図 (II期区間)

